

ほけんだより 7月

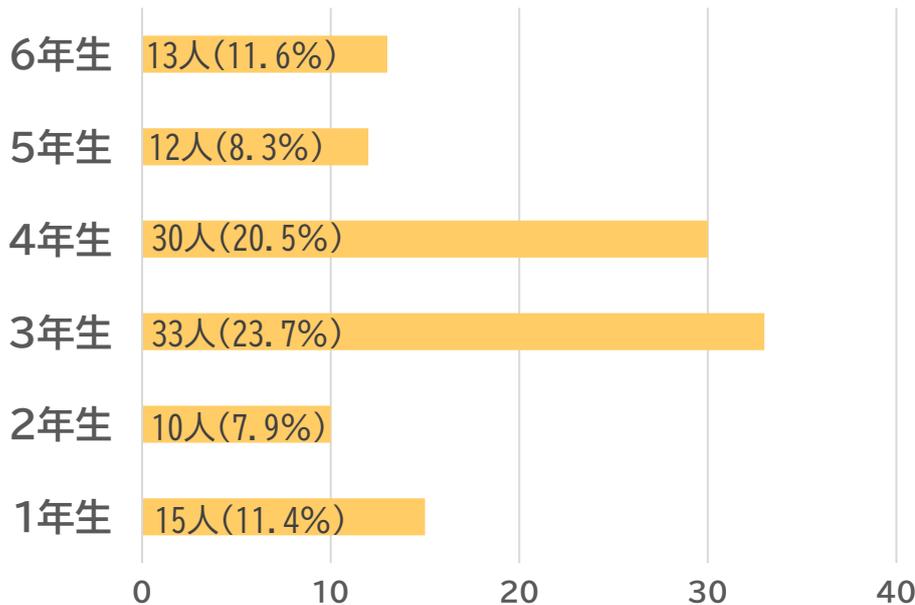
し かけんしん けっか 歯科健診の結果について

6月に歯科健診を行いました。今年度は、①むし歯がある人の割合が全校で15%以下 ②むし歯の治療率が80%以上の二つを目標にしています。歯科健診の結果、むし歯があった人は全校で113人でした。割合は14.1%でしたので、①の目標は達成できました。

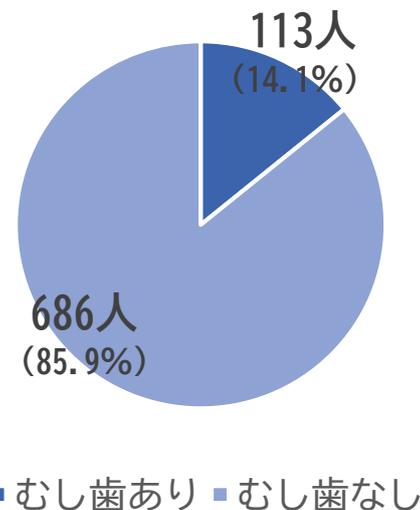
むし歯がある人の数を学年ごとに見ていくと、3・4年生で多く、割合も20%以上と高くなっています。永久歯が生えそろう直前の3・4年生では、乳歯(特に奥歯)がむし歯になりやすいという原因が考えられます。

昨年度、むし歯の治療率は約59%でした。今年度は治療率80%以上を目標にしています。6月の間にすでに治療に行った人もいます。受診のご協力ありがとうございます。年度末までに全ての子どもが治療を受けられるように、今後も呼びかけていきます。

学年別 むし歯がある人の人数(割合)



全校 むし歯がある人の人数(割合)



歯ブラシのヘッドは、すこし小さな方が口の中のすみずみまでブラッシングしやすく、汚れも落としやすいです。



歯ブラシの毛はかたすぎると歯茎が傷つき、やわらかすぎると汚れが落とされません。毛のかたさは「ふつう」がおすすめ!

歯ブラシ選びのポイント



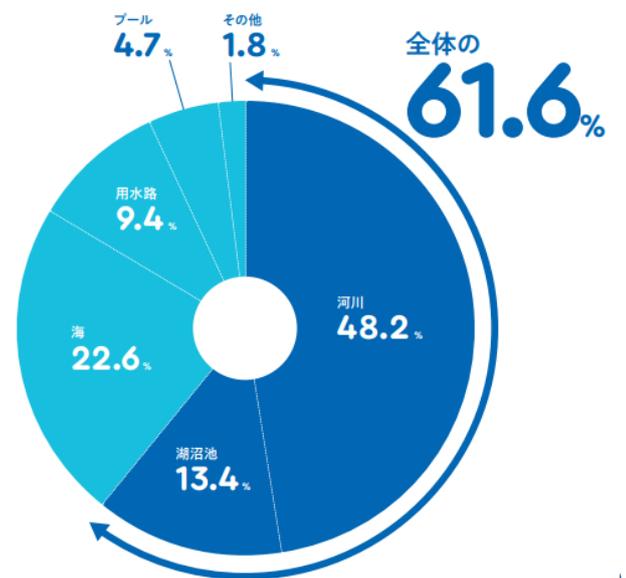
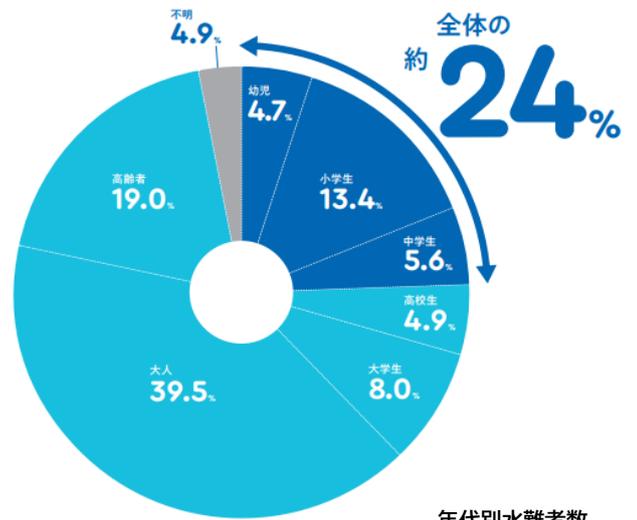
歯ブラシは月に1度を目安に交換しましょう。

すいなんじこ ちゅうい 水難事故に注意！

まもなく夏休み。海やプール、川などに遊びに行く人も多いのではないのでしょうか。そこで、気をつけてほしいのが水難事故です。水難事故とは、海、河川、湖沼、プールなどの水辺で起こる事故のことを指します。最近でも、プールや川での事故について数多く報道されているので、水難事故と聞いてイメージが出来る人も多いかと思えます。

昨年度は全国で中学生以下の198人が水難事故に遭い、そのうち26人が亡くなっています。中学生以下の子どもの水難事故は、事故全体の約24%（およそ4人に1人）を占めています。亡くなった26人の事故のうち、約6割が河川・湖沼で発生しています。東北小の周りにも柳瀬川や荒川などの河川があります。水難事故の起こる可能性のある水場は、わたしたちの身近にもたくさんあるのです。

もし、溺れてしまったときには無理に泳ごうとせず、流れに身をまかせて浮いたままの状態が良いと言われています。また、溺れている人を見つけたときは、浮き輪やペットボトルなどの浮くものにひもをつけて、溺れた人がつかめるように投げてあげてください。安全に楽しく、夏休みを過ごしてください。



場所別死者数・行方不明者数（子供）
河川財団より引用

みずべ あそ 水辺で遊ぶときは・・・

子どもだけでは行かない、必ず大人と一緒に

けがや事故が起こったとき、すぐに助けをもらえるように、必ず大人に連れて行ってもらいましょう。

ひざより浅いところで遊ぶ

川や海では、水につかっている面積が大きいほど流されやすくなります。ひざより深いところには行かないようにしましょう。

ライフジャケットを着る

水の中で転んでしまって溺れないように、ライフジャケットを着ましょう。

